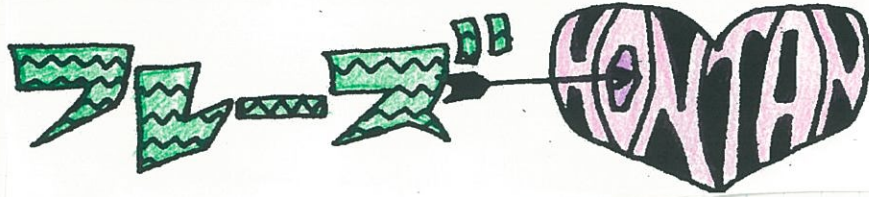


HONTAN

図書館ボランティア「本探」が 第10号
旬の図書館情報をお知らせします

春がやって来ましたね。
新しい本とも出会ってみませんか？

5



今回のテーマは…

「新入生に送るエールを込めたブーズ」です。

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます！
新しい環境で生活をスタートさせるみなさんへ
HONTANXニビルから、ささやかですが応援メッセージを送ります。

しほ

「月が明るい。
霞をまわしていても、明るい。」

「センセイの鞆」
川上弘美著
913.6/K

ふな

「誰か待っていてくれる人がいるのなら、
わたしはそこにたどつ着けるから。」

「雨の降る日は学校に行かない」
相沢 沙呼著
913.6/A

ユマ

「今度はあなたが
呪いを解く番なんじゃないの？」

「本屋さんのタイヤナ」
柚木 麻子著
913.6/Y

しー

「誰かの背中を押すことが
自分の力になる」

「千ア男子！！」
朝井 夕ヲ著
913.6/A

かおり

「大丈夫だ。
お前はやれる。」

「図書館戦争」
有川 浩著
913.6/A-C17

★ 学生に聞く 感動のエッセイ 『1リットルの涙』 ～ふな～ 木藤亜也 9/6/K

「神様、病気はどうして私を選んだの?」

この言葉は、「1リットルの涙」を書いた木藤 亜也さんが、日記の中で綴った言葉です。

当時、中学生だった彼女は、「脊髄小脳変性症」という難病に侵されてしまいます。徐々に、書くこと、話すこと、歩くことさえもできなくなるという病に…。しかし、彼女は、そんな病に屈することなく、家族や友人、先生に支えられながら、日々を懸命に過ごしていきます。「自分は どう生きていけばいいのか」、「皆に迷惑をかけて申し訳ない」、そんな葛藤を抱えながら。日記には、そんな揺れ動く気持ちがありありと綴られています。

テレビドラマや映画でも話題となり、大きな反響を呼んだ作品。書くこと、話すこと、歩くこと…私たちが日々生活する中で、「当たり前」に行っていること、その行為に対して何ら疑問を抱かずに暮らしていることに気がかされました。少しづつ、今まで「できていたこと」が「できなくなっていくこと」に、彼女がどれだけの不安、葛藤、苦しみを抱えていたのだろうか…率直にそんなことを思いました。そんな気持ちを抱きながらも、懸命に病と闘い、笑顔で前向きに生き抜いた彼女。多くの人に勇気と感動を与えた彼女。改めて「すごい」と思いました。

自分が壁にぶつかった時、大変な時、疲れた時…そんな時、この本を読んでみると、何か見えなくなるかもしれません。ぜひ、読んでみてください！

HONTAN
展示
みつけて

学生展示 ～ユマ&しほ～

春になり、様々なはじまりが訪れていることと思います。何か新しいことをはじめてみよう、という気持ちが湧いてくる人も多いのではないのでしょうか？
今回の学生展示では「HONTAN×ソバーのおすすめの本」というテーマでそれぞれが「おすすめする本」を選びました！
読み始めの本にぴったりの作品は「かり」ですので、これを機に素敵な読書ライフをはじめてみてはいかがでしょうか？
今月は、特別に展示体験のコーナーもあります☆詳しくは、図書館カウンターまで！

帯展示 ～かおり&ふな～

新入生の皆さん、入学おめでとうございます！
新たな環境へと足を踏み入れ、学生生活に期待を膨らませていると思います。しかし、不安を感じていらっしゃるかもしれません。また、環境の変化により、毎日が忙しく感じるとも思います。
そこで今回は、元気が出る小説を選びました。不安に感じる時や忙しい時こそ、空いている時間に読んでみてください。様々な本を読んで、大学生活を楽しんで頂ければと思います。

HONTAN×ソバー募集中!!!

加入方法

図書館カウンター 担当:奥井・蔭川・馬淡(平日9:00~17:00)
上記時間内にカウンターにいるスタッフに「図書館ボランティアに入りたいのですか?」と一言、言っていただければOKです!

